

学びの道を創る子 —社会へとつながる言語能力の育成—

(1) 学びの道を創る子について

学びの道を創る子とは、「自立した学び手」のことである。「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「次に何を学ぶのか」を児童自ら学びを創り出す姿を大切にしていきたい。

自己調整学習の3つの要素は「学習の動機付け」「学習方略」「メタ認知」とされている。



また、2015年からOECDは「Future of Education and Skills2030プロジェクト（通称：OECD教育2030）」を進めてきた。2019年5月には、コンセプトノートにまとめ、そのなかで左の図の「学びの羅針盤」も発表した。鈴木寛氏は、この「学びの羅針盤」について、次のようなことを述べている。

『ラーニング・コンパスという比喻は、生徒が教師の決まりきった指導や指示をそのまま受け入れるのではなく、未知なる環境の中を自力で歩みを進め、責任をもって進むべき方向を自分で見出すことの大切さを強調するために採用された。（中略）

学習プロセスとして、学習者が状況に適応し、振り返り、必要な行動を起こし、継続して自分の考えを改善していく力、つまりは、見通し（Anticipation）、行動（Action）、振り返り（Reflection）のAARサイクルの獲得を提唱している。』（『新教育ライブラリ Premier II』Vol.1 2021年4月より）

これからの時代を創るために自立した学び手を育ていくことが大切である。そこで本校では、学びの道を創る子の具体的な姿として次の5つの姿を設定する。

— 5つの姿 —



(2) 社会へとつながる言語能力

右の図は、文部科学省より出された「生きる力 学びのその先へ」で示されたものである。「どのような学びに向かう力、人間性などなのか」「どのような知識及び技能なのか」「どのような思考力、判断力、表現なのか」ということを忘れてはならないと考える。右の図からも分かるように、「社会で生かす」「今の生活に生きる」「未知の状況でも対応できる」といった部分が重要になってくる。

言語能力を育成するということは、小学校生活のみで発揮される力ではない。小学校生活を飛び越えて、社会という場につながる言語能力を本校としては育成してまいりたい。



(3) 研究の方法

○教科

国語科を軸に行う（国語科の学びを他教科にも活かせる単元の開発）

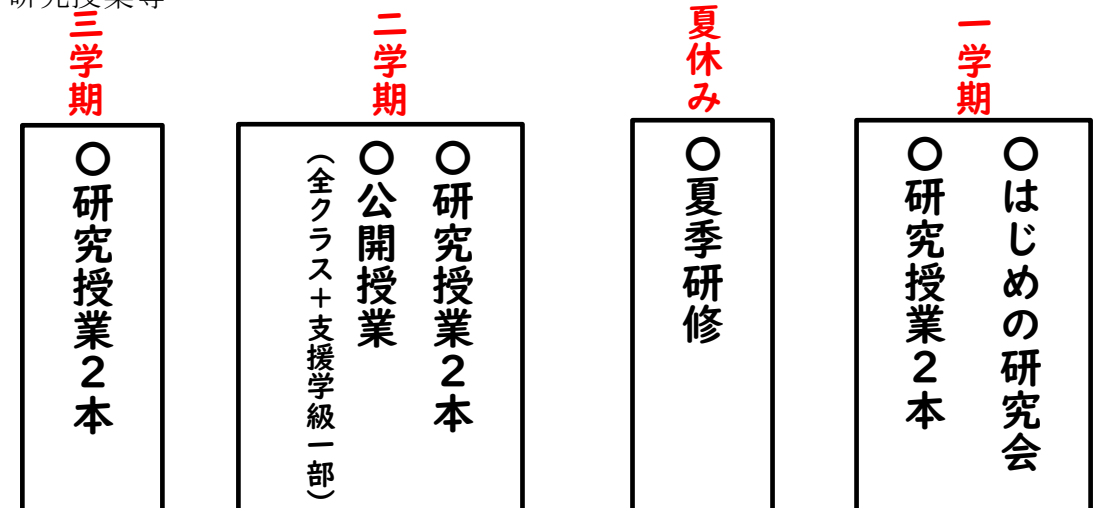
○領域

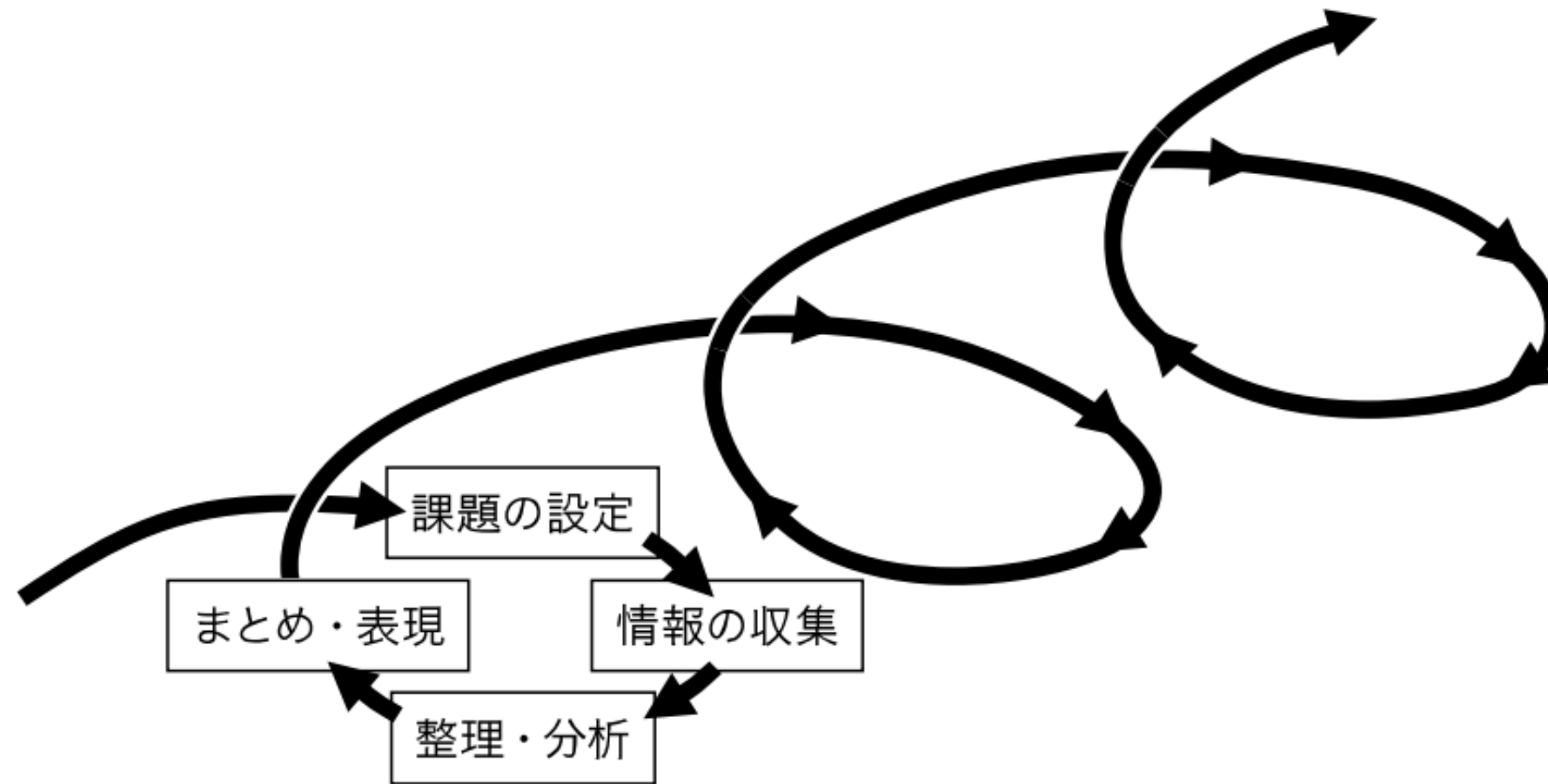
「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」

※領域を絞らず「言語能力育成」という観点で研究を進める

※年間の進め方の詳細資料に後に示す

○研修・研究授業等





■日常生活や社会に
目を向け、児童・
生徒が自ら課題を
設定する。

■探究の過程を経由する。
①課題の設定
②情報の収集
③整理・分析
④まとめ・表現

■自らの考えや課題
が新たに更新さ
れ、探究の過程が
繰り返される。

探究的な学習における児童の学習の姿

— 5つの姿の具体 —

学びに向かう力

全学年共通することは、「つきたい力」は必ず子どもと共有する。
また、つきたい力をもとに学習計画を立てていく。
学習計画を共有することは学びを見通すことにつながる。

メタ認知

学びを確かなものにするためには、学びをふりかえる場が必要である。発達段階に合わせてふりかえりの質を向上させていく。

問い

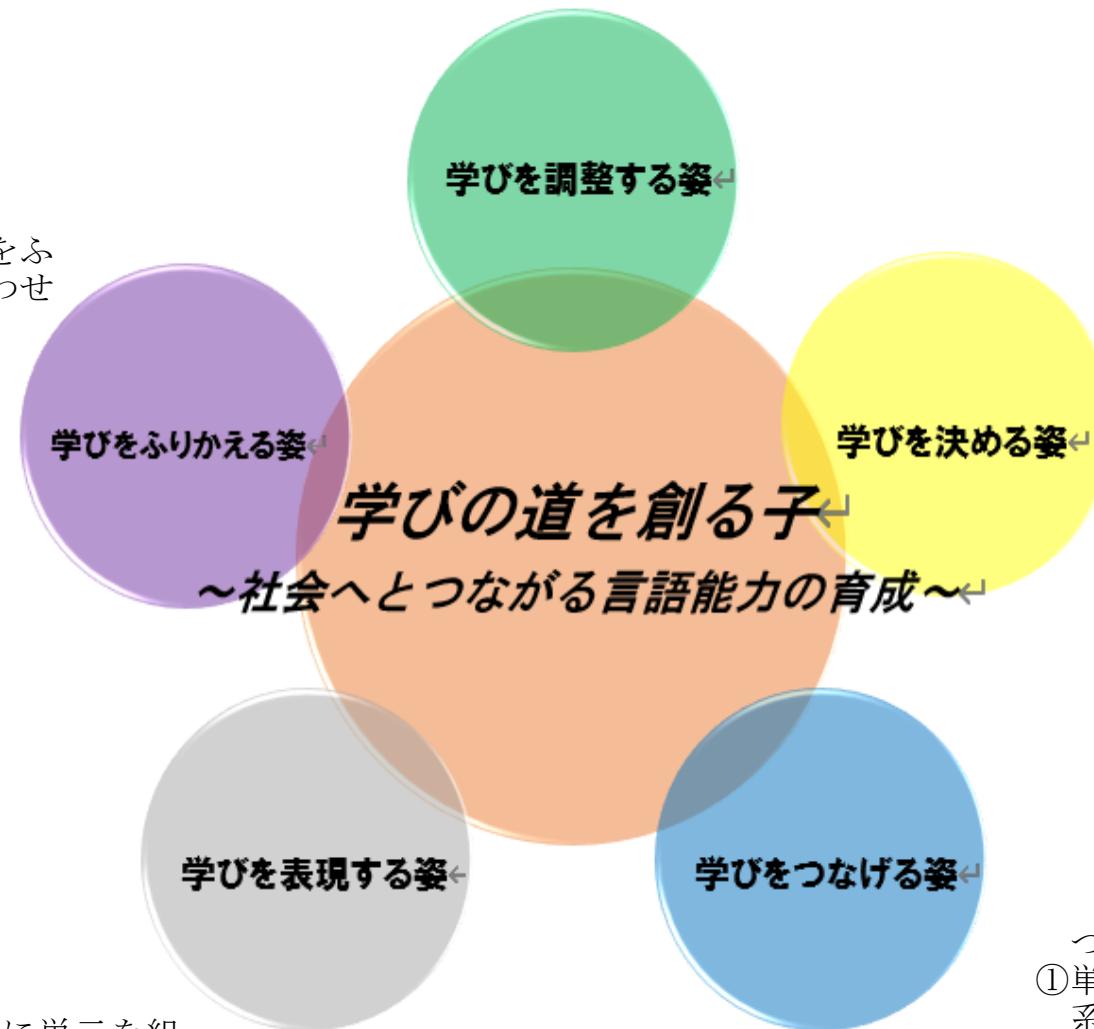
学びの方向を決めるものは「子どもの問い」である。
また、言語能力は育むための原動力も「問い」である
と考える。

言語活動

学びを表現する場は非常に重要である。
言葉の力を獲得するために言語活動を軸に単元を組み立てていく。一方で、活動あって学びがなければ意味がない。よって、言語活動の設定はつきたい力をもとにして設定する。なお、表現する姿は評価の対象となる。

系統・教科横断

- つなげる姿には2つの側面がある
- ① 単元と単元の学びをつながり
系統性である。よって、「国語の学習用語」など学校として共通理解をはかっていく。
 - ② 国語科を軸にした他教科へのつながり
国語科でつけた言語能力や学びを他教科へ活かすなどカリキュラムデザインを行い、幅広く言語能力を育成する場や表現する場を創っていく。



南山田小学校 授業ポイント

学びを調整する姿

つきたい力と学習計画の共有する場を設定する

【子どもとつくる】

【教師がつくったものを子どもと具体化していく】

【教師がつくったものを提示する】

学びを決める姿

問いをつくり、問いを決める場を設定する

課題設定を共有する部分を大切に！

学びをつなげる姿

①つきたい力・系統性を意識した単元設計

②カリキュラムデザインの視点に立った単元設計

学びを表現する姿

学びを表現する場を設定する

学びをふりかえる姿

学びをふりかえる場を設定する